

部局名	都市整備部	所属名	土木管理課	所属長名	御園生 悟	電話	483-1151 内線3610
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

## 1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3286	事務事業名称	土木総務事業				短縮コード	経常	3286	臨時	3287	
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	・道路法 ・八千代市道路占用料徴収条例 ・八千代市道路占用規則 ・屋外広告物法								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
道路法(昭和27年)及び千葉県屋外広告物条例(昭和44年)の制定と千葉県から八千代市への事務委任による。市道の管理に関する総括的事務として、道路占用許可申請事務と屋外広告物許可申請事務。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	05	第5章快適生活都市をめざして					
都市化の進行と、上下水道や都市ガスの普及に伴い、件数が増加している。景気に連動して増減する。					大項目(節)	01	第1節総合交通					
					中項目	02	2. 道路					
					小項目	03	(3)一般市道の整備					
					細項目	01	①市道の管理					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円				

## 2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	市道の占有者と屋外広告物設置者。						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: 許可申請書を審査し、許可書を発行した。 不法に掲出された広告物について掲出者に撤去を指導した。  ※平成24年度に計画していること: 平成23年度と同じ。						
意図 (何を狙っているのか)	街の美観風致を維持するとともに占用工事を計画的に実施し、道路の安全で快適な通行の確保。						
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外						
区分		単位	22年度		23年度		24年度
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	道路占用許可申請件数	件	989	1,000	1,217	1,000
	指標2	屋外広告物等表示(設置)許可申請件数	件	102	95	169	100
	指標3						
活動指標	指標1	道路占用許可件数	件	989	1,000	1,077	1,000
	指標2	屋外広告物等表示(設置)許可件数	件	102	95	110	100
	指標3						
成果指標	指標1	道路占用申請許可実績	%	100	100	88	90
	指標2	屋外広告物等表示(設置)申請許可実績	%	100	100	65	70
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3286	事務事業名称	土木総務事業		所属名	土木管理課	
	単位	22年度		23年度		24年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,154	2,208	2,118	1,740
		その他	千円	495	0	824	0
主な事業費の内訳		普通旅費・消耗品費・印刷製本費・修繕料・通信運搬費・手数料・保険料・委託料・使用料及び賃借料・補償補填及び賠償金		普通旅費・消耗品費・修繕料・通信運搬費・手数料・保険料・委託料・使用料及び賃借料・負担金・公課費		普通旅費・消耗品費・修繕料・通信運搬費・手数料・保険料・委託料・使用料及び賃借料・負担金・公課費	
人件費(B)		千円	17,682.1	17,379.8	17,509.9	17,509.9	
トータルコスト(A)+(B)		千円	20,331.1	19,587.8	20,451.9	19,249.9	

### 3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	第4次総合計画の体系「一般市道の整備」の市道の管理に結び付いている。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	今後も市道の管理業務を続けていく必要があるため。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	道路法32条により、道路占用許可は道路管理者が行うため。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で成果に結びつけることができる。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	市道の管理に関する総括的業務として、道路占用許可申請事務と屋外広告物許可申請事務を適切に行っているが、事務量が毎年増加傾向にあり、かつ継続申請等に対し、事務処理効率向上のため、データ処理システムへの移行を図る。			
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
<input checked="" type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し						
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)		
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し		2		実施主体(所管部署)		
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある	データ処理システム導入による一時的な経費増と、データ入力の手間が必要になる。				
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	3286	事務事業名称	土木総務事業			所属名	土木管理課																					
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続			市道の管理に関する総括的事務として、道路占用許可申請事務と屋外広告物許可申請事務を適切に行っているが、事務量が毎年増加傾向にあり、事務効率向上のために、データ処理への移行を図る。 道路機能の維持・管理について、不法に掲出された広告物が増加しているので改善策を検討している。																						
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	データ処理システム導入によるコストの増加、事務効率向上の成果が考えられる。	
		経 費																										
		削 減	不 変	増 加																								
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																								
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>占用工事による振動等の苦情と不法占用物件や広告物に対する指導取締りを求める要望が多い。</p>	

所属長コメント	市道に関する苦情・要望への早急な対応のため、また、許可事務の事務効率向上のため電子データ処理を推進する。			
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	現状のまま継続とするが、道路占用許可申請事務及び屋外広告物許可申請事務については、事務処理の効率化に向け、今後も検討を行っていくこと。		